

# 令和6年度 学校運営連絡協議会実施報告書

## 1 組織

- (1) 東京都立小金井北高等学校 学区連絡協議会(全日制課程)  
校長のほか、協議委員と内部委員で構成する。
- (2) 事務局構成  
副校長、主幹教諭(教務主任)＝事務局長、経営企画室長、事務担当 計4名
- (3) 内部委員の構成  
副校長、経営企画室長、教務部主任、生徒保健部主任、進路学力向上部主任、総務部主任、保健担当1名 計7名
- (4) 協議会構成  
保護者代表、同窓会代表、地域住民代表(小金井市立緑中学校PTA会長)、近隣中学校、有識者(東京学芸大学、法政大学)2名、関係機関(小金井警察、小金井市教育委員会、小金井市生涯福祉センター)3名 計9名

## 2 令和6年度学校運営協議会の概要

### (1) 学校運営連絡協議会の開催

- 第1回 令和6年6月18日(火) 内部委員8名、協議委員5名  
協議委員の委嘱、委員紹介、学校経営報告、学校経営計画、令和6年度学校運営連絡協議会実施報告書、組織目標に対する各分掌の概要説明
- 第2回 令和6年11月26日(火) 内部委員8名、協議委員6名  
学校評価アンケート、組織目標に対する取組状況
- 第3回 令和7年3月11日(火) 内部委員8名、評議委員4名  
令和6年度学校評価アンケート実施報告、内部委員からの組織目標に対する成果と課題の報告、協議委員アンケート

### (2) 評価委員会の開催

- 第1回 令和6年11月26日(火) 学校評価アンケートの設問内容
- 第2回 令和7年3月11日(火) 令和6年度学校評価アンケート実施報告

### 3 令和6年度 学校評価アンケート

#### (1) 学校評価の観点

学校経営計画の達成状況を学校運営、学習指導、特別活動、生活指導、進路指導、保健指導等

#### (2) アンケートの対象及び実施時期

対象者	対象者数	回答数	回答率	実施時期
在校生	712名 (① ② ③)	483名 (① 200 ② 161 ③ 105 ④無回答：2)	67.8% 〔81.0%〕	11月～12月
保護者	712名 (① ② ③)	327名 (① 127 ② 104 ③ 92 ④無回答：4)	45.9% 〔58.0%〕	11月～12月
教員	39名	37名 (38名)	94.9% 〔97%〕	11月～12月

#### (3) アンケートの評価項目

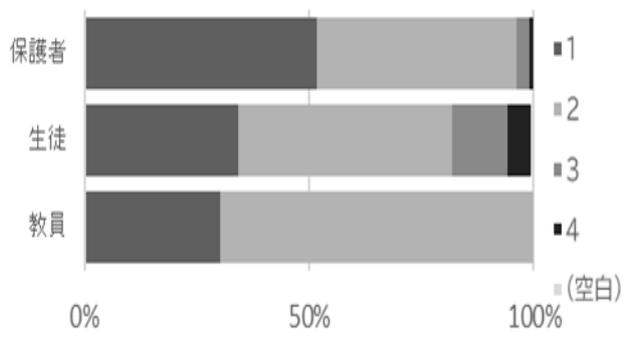
- ① 学校運営：入学満足度、学校生活の充実度、目標をもった生活、能力伸長の教育実践、適切な情報発信、施設設備の整備、働き方改革の取組(一部教員のみ対象)、評価できる教育活動(複数回答)
- ② 学習指導：授業満足度、評価できる学習指導(複数回答)
- ③ 特別活動：人間性の育成、部活動満足度、学習と部活動の両立、評価できる学校行事(複数回答)、評価できる部活動(複数回答)
- ④ 生活指導：マナー・ルールを遵守、いじめに対する取組、体罰・暴言のない指導、安全指導・防災教育、適切な生徒指導
- ⑤ 進路指導：第一志望の支援、進路情報の提供、評価できる進学指導(複数回答)
- ⑥ 保健指導：教育相談の環境整備、健康管理指導、衛生・清掃状況、清掃が行き届いていない場所(複数回答)

#### (4) アンケートの結果

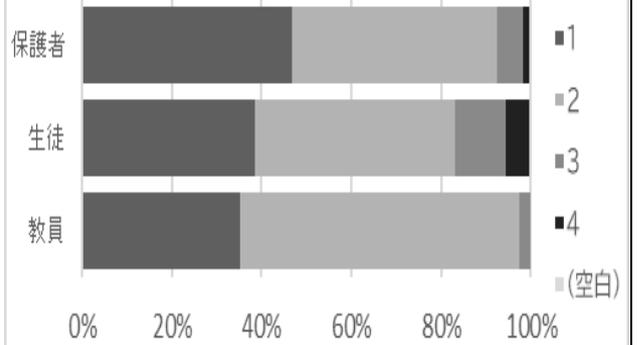
問1から問20 生徒・教員・保護者は四つの選択肢から回答する。

- ① そう思う ② だいたいそう思う ③ あまりそう思わない ④ そう思わない

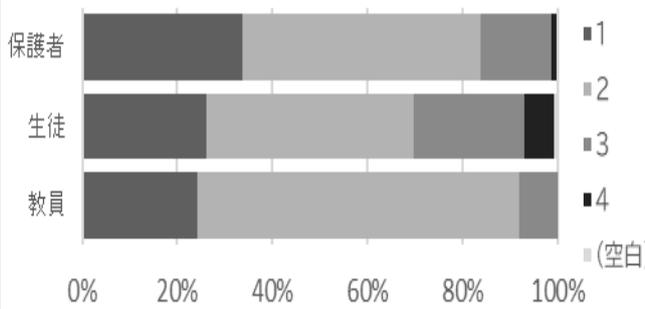
問1 小金井北高校に入学して満足している



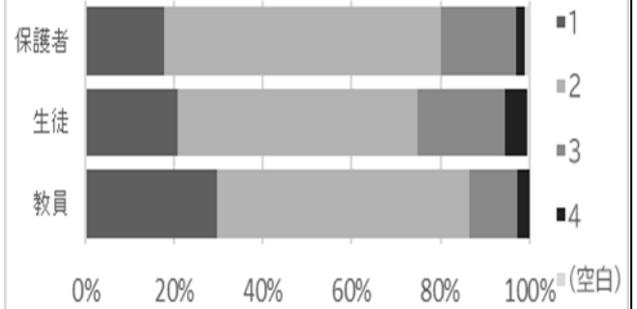
問2 充実した学校生活を送っている



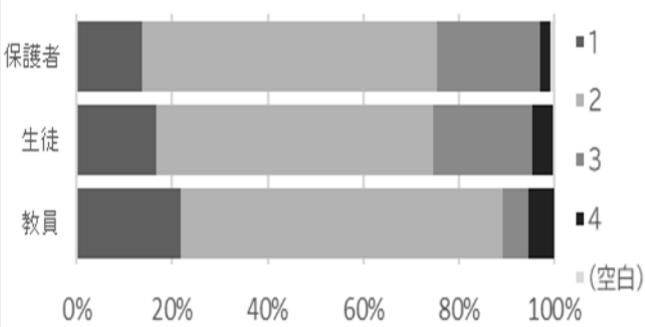
問3 目標をもって高校生活を送っている



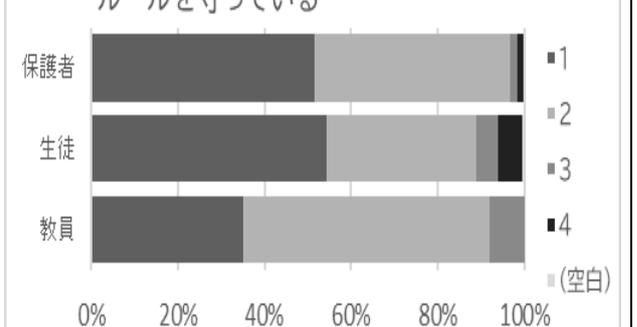
問4 学校は、生徒一人一人の能力を伸ばす教育を行っている



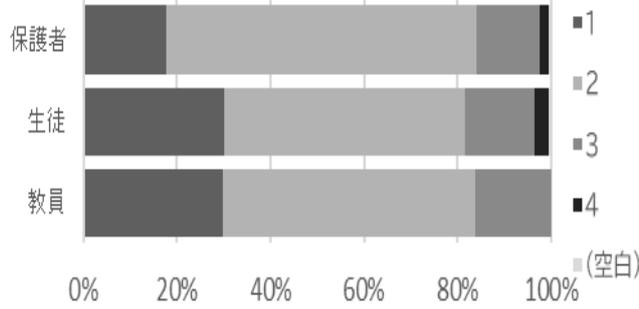
問5 満足できる授業が多い



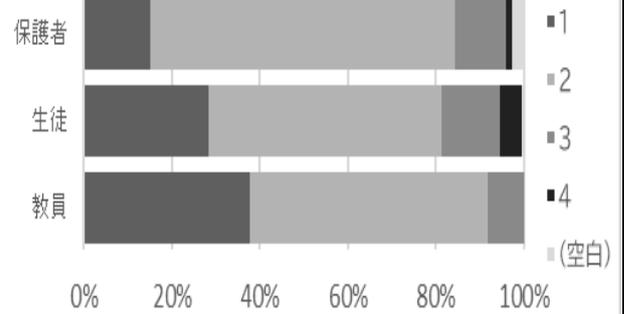
問6 日常生活のマナーや社会のルールを守っている



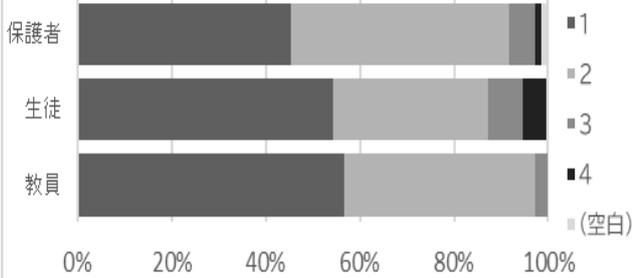
問7 学校は、生徒の悩みや相談に応える環境が整っている



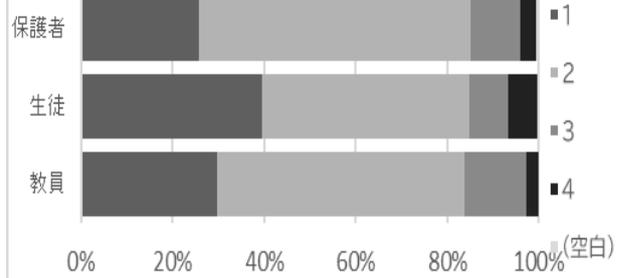
問8 学校は、いじめの未然防止や早期発見に組織的に取り組んでいる



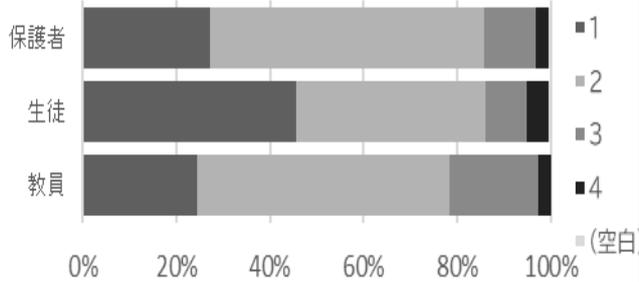
問9 学校は、体罰や暴言等のない指導を実践している



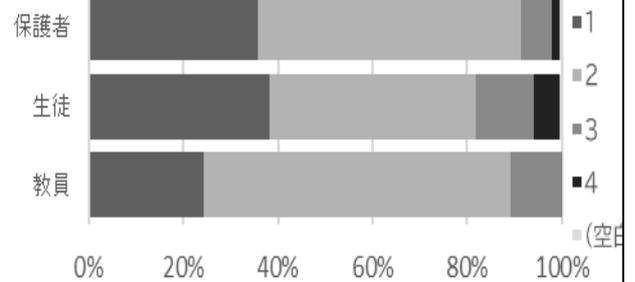
問10 学校は、生徒の第一志望の実現を支援する進路指導を行っている



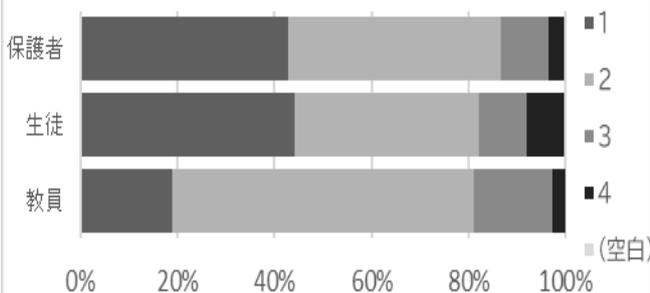
問11 学校は、進路に関する情報を十分に提供している



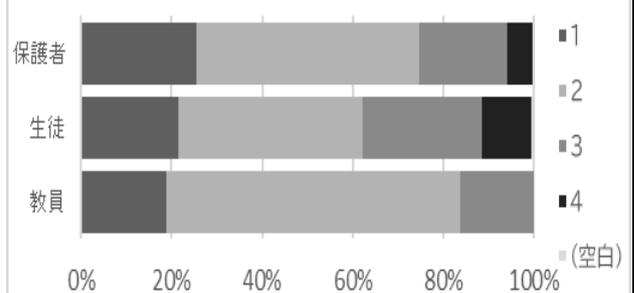
問12 学校は、学校行事を通じて個性豊かな人間性を育てている



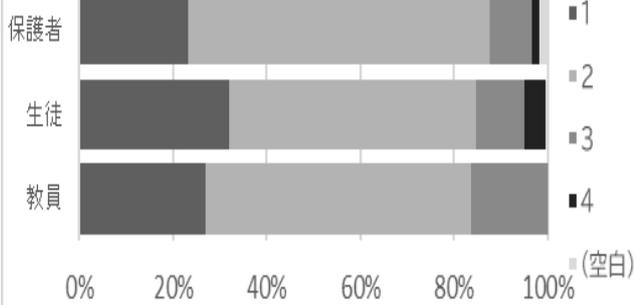
問13 本校の部活動に満足している



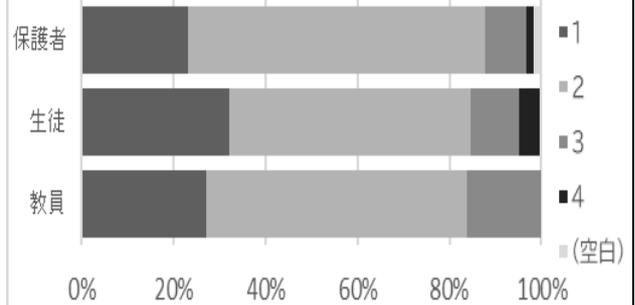
問14 学習と部活動との両立ができている



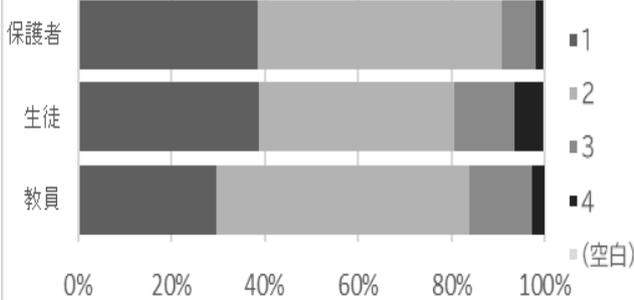
問15 学校は保健室やHR等を通して  
健康管理に関する指導を適切に行っている



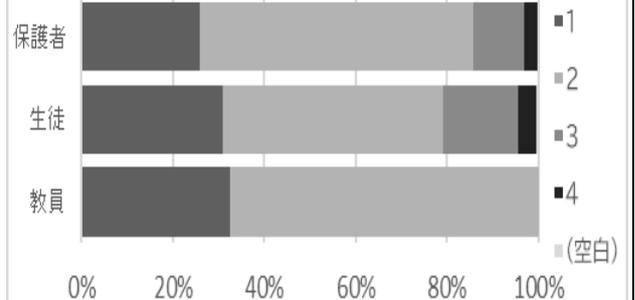
問16 学校は、交通安全指導や  
防災教育を適切に行っている



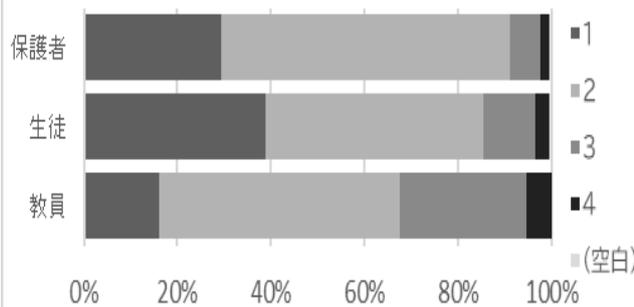
問17 学校施設内の衛生状況・  
清掃状況は良好である



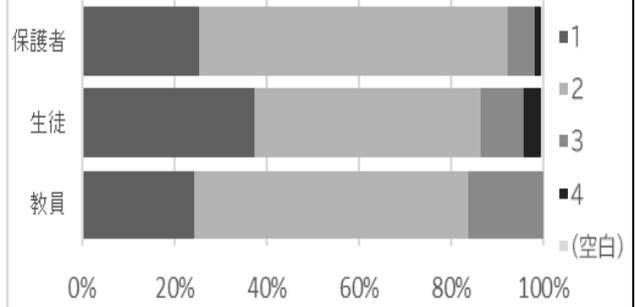
問18 学校の情報は、ウェブページなど  
により適切に発信されている



問19 あなたにとって、学校の施設・  
設備などは整っている

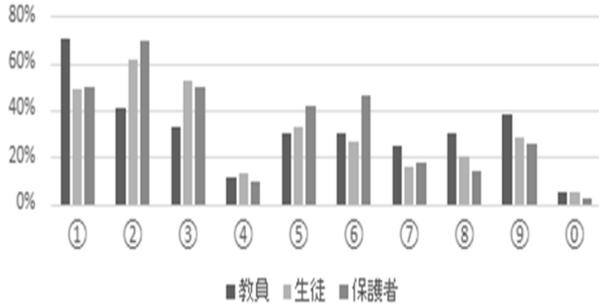


問20 学校は、生徒と向き合い、  
適切な生活指導を行っている



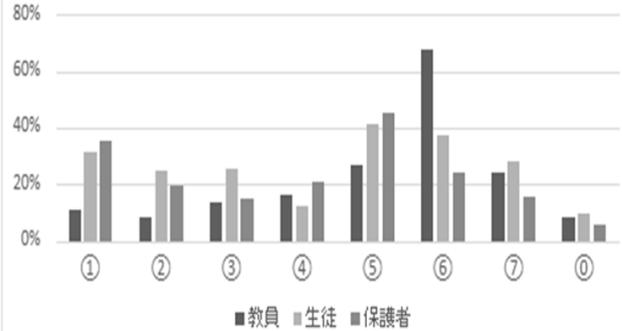
問 21 ～ 問 26 複数回答によって回答する。

問21 本校の教育活動等の中から、評価できる項目を選んでください。



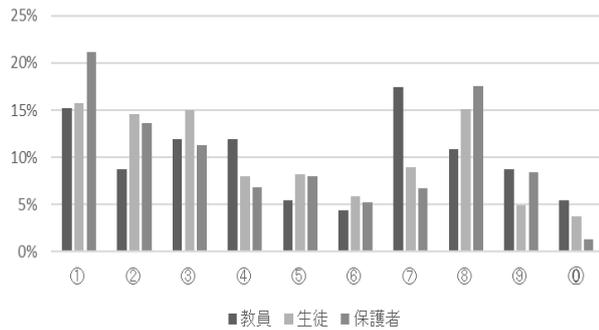
①授業 ②学校行事 ③部活動 ④生徒会・委員会活動 ⑤校風・伝統 ⑥進学指導推進校 ⑦英語教育推進校 ⑧理数研究校 ⑨東京学芸大学との高大連携 ⑩評価できるものはない

問22 本校の特色ある学習指導の中から、評価できる項目を選んでください。



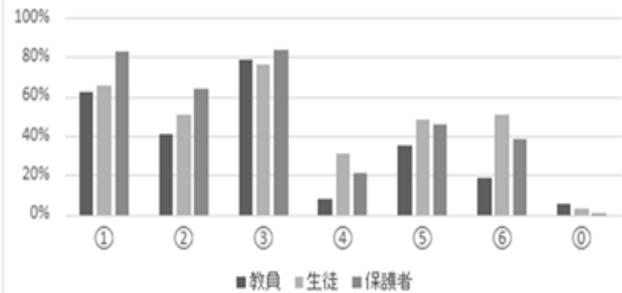
①2年生の選択科目 ②3年生の選択科目 ③体育の少人数授業 ④習熟度別授業 ⑤講習・補習 ⑥JETによる英語指導 ⑦自主学習支援アドバイザー ⑧評価できるものはない

問23 本校の進路指導の中から、評価できる項目を選んでください。



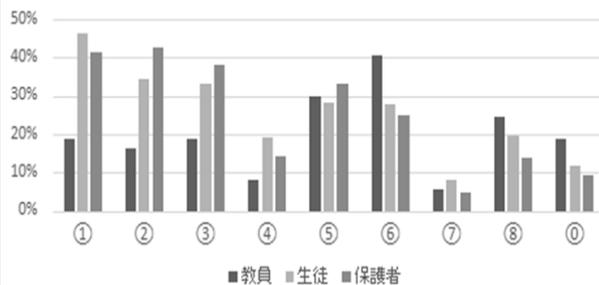
①各種ガイダンス・進路だより ②「進路のてびき」 ③休業中の講習 ④面接指導 ⑤模擬試験に基づく指導 ⑥スプリングセミナー(1年次) ⑦進路体験講話 ⑧校内大学説明会(1、2年次) ⑨代ゼミサテライト(2、3年次) ⑩評価できるものはない

問24 本校の学校行事の中から、評価できる項目を選んでください。



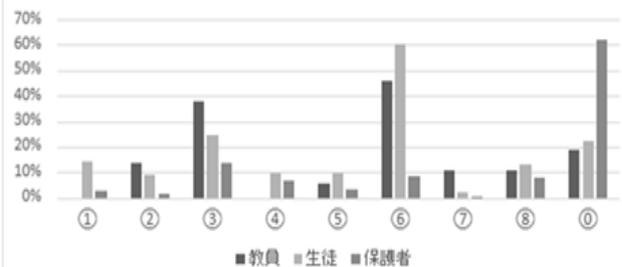
①合唱コンクール ②体育大会 ③桜樹祭(文化祭) ④球技大会 ⑤修学旅行(2年次) ⑥校外学習(1年次) ⑦評価できるものはない

問25 本校の部活動で、評価できる項目を選んでください。



①種類や数 ②活動日数 ③活動時間 ④休日の活動 ⑤顧問の指導 ⑥コーチ等の指導 ⑦合宿 ⑧大会の結果 ⑨評価できるものはない

問26 本校の施設の中から、普段から清掃が行き届いていない場所を選んでください。



①HR 教室 ②特別教室 ③廊下・階段 ④生徒昇降口 ⑤体育館・剣道場 ⑥更衣室 ⑦職員室・準備室 ⑧トイレ ⑨どこも清掃が行き届いている

## (5) 結果の考察

設問ごとに肯定的な割合[昨年度の割合]と比較し考察する。(一部の設問では一昨年度の結果を取り挙げ比較する。)

また、複数回答については最大3つに絞り考察を行う。

### ① 学校運営

#### ・ 入学満足度

保護者 95.1%[92.8%]、教員 100%[97.4%]と昨年度よりやや高い数値を維持しているが、生徒 83.6%[85.6%]と僅かに減少した。生徒に関しては、令和4年度 87.4%から減少が続いている。

#### ・ 学校生活の充実度

保護者 92.4%[92.5%]、教員 97.3%[97.4%]は昨年度とほぼ変化がないが、生徒は 83.0% [85.6%]とやや低い結果であった。こちらも令和4年度 88.9%から減少が続いている。

#### ・ 目標意識をもった高校生活(生徒は自己評価)

生徒と教員は 69.8%[76.2%]、91.9%[92.1%]と昨年度より減少していたが、保護者の結果は 83.8%[78.0%]と増加していた。教員・保護者の数値と比べると、生徒の数値が低く、令和4年度 83.4%から大きく減少している。

#### ・ 能力を伸ばす教育の実践

教員 86.5%[86.8%]、保護者 80.1%[77.1%]、生徒 74.7%[69.4%]と教員の結果のみ昨年度より僅かに減少しているが、全体的に増加している。令和4年度は生徒 75.5%、保護者 61.0%、教員 89.2%であり、保護者の評価は増加傾向、教員は減少傾向にある。

#### ・ 適切な情報発信

生徒 79.1%[84.6%]、保護者 85.6%[87.9%]、教員 100.0%[100.0%]という結果だった。生徒と保護者の結果は減少傾向にある。教員の認識との差異がある。

#### ・ 施設設備の整備

生徒 85.5%[87.7%]、教員 67.6%[76.3%]とやや減少したが、保護者 91.1%[88.9%]と昨年度より高い結果であった。

#### ・ 評価できる教育活動

生徒の評価は、(1)学校行事 67.8%[54.9%]、(2)部活動 52.6%[49.6%]、(3)授業 48.4%[36.4%]の順であった。保護者の評価は、(1)学校行事 69.4%[68.8%]、(2)部活動 50.2%[51.2%]、(3)授業 50.2%[進学指導推進校 43.0%]の順であった。教員の評価は、(1)授業 70.2%[63.2%]、(2)学校行事 40.5%[52.6%]、(3)部活動 32.4% [東京学芸大学との高大連携 47.4%]の順であった。

## ② 学習指導

- ・ **満足できる授業が多い**

生徒 74.5%[67.4%]、保護者 75.5%[74.6%]、教員 89.2%[84.2%]と全てにおいて増加する結果であった。特に、生徒の増加率は 7.1%と高くなった。

- ・ **評価できる学習指導**

生徒の評価は、(1)講習・補習 41.0%[体育の少人数授業 29.9%],(2)JET による英語指導 37.4%[2 年生の選択科目 27.8%],(3)体育の少人数授業 25.3%[自主学習支援アドバイザー 26.6%]の順であった。保護者の評価は、(1)講習・補習 45.3%[講習・補習 35.4%],(2)2 年生の選択科目 35.5%[2 年生の選択科目 32.4%],(3)JET による英語指導 23.9%[習熟度別授業 26.2%]の順であった。教員の評価は、(1)JET による指導 67.6%[JET による指導 44.7%],(2)講習・補習 27.0%[自主学習支援アドバイザー 39.5%],(3)自主学習支援アドバイザー 24.3%[講習・補習 34.2%]の順であった。

## ③ 特別活動

- ・ **学校行事を通じた個性豊かな人間性の育成**

保護者は 91.4%[85.3%]と増加したが、生徒 81.8%[86.7%]、教員 89.5%[89.2%]と減少した。

- ・ **部活動満足度**

保護者 86.5%[82.9%]、生徒 82.0%[81.9%]は微増したが、教員 81.1%[81.6%]は昨年度よりやや減少している。教員は令和 4 年の数値 83.8%から減少傾向が続いている。

- ・ **学習と部活動の両立**

生徒 62.1%[64.3%]、保護者 74.6%[72.0%]、教員 83.8%[73.7%]と保護者と教員は昨年度に比べて増加したが、生徒の認識は減少している。令和 4 年度の結果は、生徒 69.9%、保護者 68.9%、教員 78.4%であり、生徒の評価が他の設問より低く、年々減少傾向にある。

- ・ **評価できる学校行事**

生徒の評価は、(1)桜樹祭 76.6%[桜樹祭 71.0%],(2)合唱コン 65.2%[合唱コン 61.5%],(3)体育大会 50.5%[体育大会 49.0%]の順であった。保護者の評価は、(1)桜樹祭 83.8%[桜樹祭 82.6%],(2)合唱コン 82.6%[合唱コン 82.3%],(3)体育大会 63.6%[体育大会 67.1%]の順であった。教員の評価は、(1)桜樹祭 78.4%[桜樹祭 81.6%],(2)合唱コン 62.2%[合唱コン 73.7%],(3)体育大会 41.0%[体育大会 55.3%]の順であった。

- ・ **評価できる部活動**

生徒の評価は、(1)種類や数 46.4%[種類や数 43.1%],(2)活動日数 38.1%[活動日数 34.2%],(3)活動時間 33.3%[活動日数 32.6%]の順であった。保護者の評価は、(1)活動日数 42.5%[活動時間 42.9%],(2)種類や数 41.6%[活動日数 42.1%],(3)活動時間 37.9%[種類と数 38.3%]の順であった。教員の評価は、(1)顧問の指導 29.7%[種類や数 39.5%、顧問の指導 39.5%],(2)コーチ等の指導 40.5%[コーチ等の指導 28.9%],(3)種類や数 18.9%、活動時間 18.9%、評価できるものはない 18.9%[活動日数 26.3%]であった。

#### ④ 生活指導

- ・ **マナー・ルールの遵守**

生徒 89.0%[96.9%]、保護者 96.6%[96.9%]、教員 91.9%[94.7%]と高い結果であったが、令和4年度・5年度は生徒・保護者・教員と9割を維持しており、生徒は7.9%減少している。

- ・ **いじめ防止に対する組織的な取組**

教員は91.9%[92.1%]と僅かに減少したが、生徒81.4%[80.5%]、保護者84.4%[83.6%]と昨年度よりも増加している。

- ・ **体罰・暴言のない指導**

生徒87.4%[92.8%]、保護者91.7%[93.7%]、教員97.3%[100.0%]であり、全て減少している。令和4年度は生徒97.1%、保護者80.8%、教員94.6%である。生徒の結果が3年連続で減少しており、減少率は10%近い。生徒指導の場面では一層の配慮が必要である。ただし、保護者の結果は令和5年度から令和6年度は僅かに減少したものの、令和4年度と比較すると10%増加しており、生徒と保護者の認識に差があることも考慮しておく必要がある。

- ・ **安全指導・防災教育の適切実施**

生徒84.7%[92.1%]、保護者76.6%[91.5%]、教員83.8%[89.5%]と全体的に減少している。保護者の結果は昨年度より約15%減少した。ちなみに、保護者は令和4年度66.5%であり、年度毎の数値の変動が大きい。なお、令和6年度は雨天のため、梶野公園での応急給水訓練が中止になっている

- ・ **生徒と向き合う適切な生活指導**

保護者92.4%[87.7%]は昨年度より高いが、生徒86.5%[88.6%]、教員83.8%[86.8%]と僅かに減少する結果となった。

#### ⑤ 進路指導

- ・ **第一志望実現の支援**

生徒は84.9%[86.5%]、保護者85.0%[81.9%]、教員83.8%[94.7%]という結果であった。保護者の結果がやや増加したが、生徒と教員は減少している。教員は約10%減少しており、改めて教員間での支援体制の確認を行う必要があると思われる。

- ・ **進路情報の提供**

生徒と教員の結果は昨年度に比べ86.1%[88.5%]、78.4%[92.1%]と減少しているが、保護者の結果は85.6%[81.2%]と僅かに増加した。教員の結果が大きく減少しており、原因を明らかにする必要がある。

- ・ **評価できる進路指導**

生徒の評価は、(1)各種ガイダンス・進路だより37.9%[各種ガイダンス・進路だより36.9%],(2)校内大学説明会36.2%[進路の手引き36.6%],(3)休業中の講習36.6%[受験体験講話21.5%]の順であった。保護者の評価は、(1)各種ガイダンス・進路だより50.2%[各種ガイ

ダンス・進路だより 51.8%],(2)校内大学説明会 31.5%[進路の手引き 31.5%],(3)進路の手引き 32.1%[代ゼミサテライン 23.5%]の順であった。教員の評価は、(1)校内大学説明会 43.2%[面談指導 50.0%],(2)各種ガイダンス・進路だより 37.8%[進路の手引き 44.7%],(3)面接指導 29.7%[各種ガイダンス・進路だより 42.1%]の順であった。

## ⑥ 保健指導

### ・ 教育相談の環境整備

生徒は 81.6%[82.6%]と昨年度に比べ僅かに減少したが、保護者 84.1%[80.2%]、教員 83.8% [81.6%]ともに昨年度に比べ増加した。

### ・ 健康管理指導

生徒 84.7%[88.0%]、保護者 87.8%[95.4%]、教員 83.8%[97.4%]という結果であった。令和4年度の数値は生徒 92.6%、保護者 80.6%、教員 97.3%であり、生徒と教員の結果はいずれも減少傾向にある。ちなみに、令和5年度にコンディション・レポートや本校独自の保健相談予約システム等を開始している。

### ・ 衛生・清掃状況

生徒 80.7%[90.1%]、保護者 90.8%[91.3%]、教員 83.8%[86.8%]という結果であった。昨年度と比較すると、保護者や教員は僅かな減少だが、生徒は約 10%減少している。

### ・ 掃除が行き届いていない場所

生徒の評価は、(1)更衣室 60.2%[更衣室 61.7%],(2)廊下・階段 24.6%[廊下・階段 24.2%],(3)どこも清掃が行き届いている 22.4%[どこも清掃が行き届いている 21.1%]の順であった。保護者の評価は、(1)どこも清掃が行き届いている 42.0%[トイレ 12.8%],(2)廊下・階段 13.5%[廊下・階段 12.3%],(3)更衣室 8.6%[更衣室 8.0%]の順であった。教員の評価は、(1)更衣室 45.9% [50.0%],(2)廊下・階段 37.8%[特別教室 13.2%,どこも清掃が行き届いている 13.2%]、(3)どこも清掃が行き届いている 18.9%[ホームルーム教室 7.9%,トイレ 7.9%]の順であった。

## 4 学校運営連絡協議会の成果と課題（学校の自己評価へ反映）

### (1) 学校運営連絡協議会を実施して得られた成果

学識者（大学教授）、地域住民、近隣中学校等の外部の方々から、それぞれの立場からの本校へのニーズを知ることができた。大学は、やはり社会人としての知性や教養ある人物の育成、地域住民からは地域の役割を担う社会人の育成、近隣中学校からは中学生の希望する学校であって欲しいとの要望を直に知ることができたことは大きな成果である。また、学校で行っている日々の取組に

ついて、外部委員を通して広くご報告できた。関係機関等（警察、小金井市教育委員会）からも、学校の取組や生徒対応について助言をいただくことができた。

## (2) 学校運営連絡協議会を実施して明らかとなった課題

- ・募集対策において、土曜日の授業公開・学校説明会等には工夫が必要。特に、中学校からは様々な授業を見せてもらいたいという要望が強い。時間割通りにやると、いつも同じ内容になってしまうので、可能な範囲で特別時間割を組む、時間割の変更を行うなどの対応が必要になる。
- ・不登校の生徒への対応。中学校や大学でも不登校生徒・学生の対応についての課題はある。SCや養護教諭、担任にも大きな負担がかかる。誰か一部に負担のかからないように学校で組織的に取り組む必要がある。

## 5 学校運営連絡協議会及び学校評価を活用した教育活動の改善事項（学校経営計画へ反映）

### (1) 学校運営

- ・学校評価や授業評価アンケート等を活用し、的確に課題を把握するとともに、学校経営の一層の改善を推進する。
- ・アンケートの実施方法や実施時期など工夫し、保護者の回収率を高めていく。
- ・学校の組織体制の見直しや各種会議の時間短縮を図り、教職員の在校時間を縮減する。また、看護休暇・短期介護休暇、育児休暇の取得等の利用を推奨、業務の見直し等、働き方改革を推進する。

### (2) 学習指導

- ・生徒による授業評価アンケートを活用する他、相互授業参観や校内研修を通して、組織的に授業改善に取り組み、学校全体の授業満足度を高めていく。また、指名制の授業見学や模範授業への参加を促進し、その成果を各教科で共有させる。
- ・新学習指導要領の確実な実施に向けて、指導と評価の一体化を目指すとともに、カリキュラム・マネジメントを推進する。また、定期考査の共通化を定着させる。さらに教科主任会を活用し、教科横断的な取組を推進する。
- ・課題（宿題）の成果と課題を検証し、精選された必須の課題や個々の生徒の状況に応じた選択的課題等、個別最適化された課題の付与にも取り組む。
- ・一人一台端末などPCを効果的に活用する。

### (3) 特別活動

- ・各学校行事や実施内容の充実を図る。生徒の主体的な企画・運営を支援する。
- ・東京学芸大学との高大連携事業において、講演やワークショップの在り方について一層改善を図る。
- ・海外学校間交流事業では、次年度は提携校のウヌーナ・ハイスクールへの語学研修を実施する。また、事前・事後の指導を適切に行い、安全かつ教育的効果を高める内容の語学研修にする。

### (4) 生活指導

- ・入学後すぐに、自転車の乗車時のマナー・ヘルメットの着用・保険加入の指導ができるように、生徒保健部を中心に指導体制を整える。
- ・保護者会等を通じて、策定した「学校いじめ防止対策」の周知に努める。校内研修を適切に実施

し、体罰や暴言等、不適切な指導のない学校づくりに学校全体で取り組む。

- ・計画的に保護者との面談を設定し、確実に周知を行い、実施する。
- ・一人一人が自分の目標を設定して取り組むことができるよう指導する。

#### (5) 進路指導

- ・保護者会等を通じて「SNS 家庭ルール」の策定を推奨する。また、部活動・行事準備期間の校内ルールを遵守し、学習と部活動との両立を図る。
- ・外部試験模試を分析し、それに適応した学習計画を立案するとともに、適切な振り返りに取り組ませる。また、安易に受験科目を減らさせない支援・指導を行う。大学入学共通テスト後に、志望校検討会を実施し、個別指導につなげる。
- ・教科主任会を計画的に実施し、組織的なPDCAサイクルを確立する。
- ・「総合的な探究の時間」の運営体制を整備する。また、探究の成果を総合型選抜等の受験に活用できるように生徒を支援する。

#### (6) 健康・安全

- ・全員面接を1学期中に終了させる。また、教育相談会により生徒情報を共有し、不登校や不適応生徒に丁寧に対応する。
- ・校内美化の取組について、清掃分担の見直しを図る等、美化活動を徹底する。

### 6 「学校が良くなった」と考える協議委員の割合

#### (1) 協議委員人数 9人

#### (2) 学校が良くなったと答えた協議委員の人数

そう思う	多少そう 思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	そう思わ ない	分からない	無回答
8						1

### 8 その他

- ・前年度は協議委員で1回も参加できない方もいたが、今年度は1回は全員に出席いただくことができた。次年度もできる限り、参加していただけるように開催日に配慮する。